

# 第79回中央区民体育大会ヨットレース大会

## 帆走指示書 Sailing Instructions

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。

レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。

[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

### 1. 規則

- 1.1. 本大会は、2021-2024 セーリング競技規則(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。
- 1.2. SI は NOR よりも優先する。これは規則 63.5(c)を変更している。
- 1.3. 本大会に適用される全ての規則において、[SP] [NP]の表記は以下を意味する。

### 2. 帆走指示書の変更

- 2.1. 帆走指示書の変更は、公式掲示板に掲示する。

### 3. 選手とのコミュニケーション

- 3.1. 公式通告は新艇庫前に設置された公式掲示板に掲示する。
- 3.2. レースオフィスは新艇庫1Fに設置する。
- 3.3. [DP] 緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

### 4. 行動規範

- 4.1. [DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの妥当な要求に応じなければならない。

### 5. 陸上で発せられる信号

- 5.1. 陸上で発せられる信号は、レースオフィス前に設置されたポールに掲揚する。
- 5.2. 音響1声とともに掲揚されるD旗は『予告信号はD旗掲揚後30分以降に発する』ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで離岸してはならない。予告信号予定時刻の30分前までにD旗が掲揚されない場合は、そのレースのスタートが時間に定めなく延期されている。
- 5.3. D旗がクラス旗の上に掲揚された場合、そのクラスのみに適用する。

### 6. レース日程

#### 6.1. レース日程

日付	種 目	第1レース予告信号予定時刻
11月9日 (日)	ディンギークラス	9:55
	シングルハンドクラス	10:00
	OP(A/B)クラス	10:05

※引き続きのレースのスタート順番は上記の順番とは異なることがある。

- 6.2. 次のレースが始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を掲揚する最低5分以前に、音響1声とともにスタートラインのポールにオレンジ旗を掲揚する。
- 6.3. 当該種目の最大レース数は4レースとする。
- 6.4. 14:00以降のスタート予告信号は発しない。

## 7. クラス旗

種 目	ク ラ ス 旗
ディングークラス	420旗
シングルハンドクラス	レーザーラジアル旗
OP(A/B)クラス	OP 級旗(黒文字)

## 8. レースエリア

「添付図 A」にレース・エリアのおおよその位置を示す。

尚、このレース・エリアはレース委員会の裁量により変更される場合がある。

## 9. コース

- 9.1. 「添付図 B」の見取り図、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2. 予告信号以前に、レース委員会信号艇に「最初のレグのおおよそのコンパス方位」を掲示する。

## 10. マーク

### 10.1. マークの色と形状

種 目	1	2s, 2p	変更マーク	スタートピン	フィニッシュピン
ディングークラス シングルハンドクラス	黄色の円筒形 (アビーム)	黄色の円筒形 (アビーム)	オレンジ色の 三角推	蛍光色の円筒形 (サンファン)	薄緑色の 円錐形
OP(A)クラス	黄色の円筒形 (トレーニングバイ)	—	—	〃	〃
OP(B)クラス		—	—	〃	〃

## 11. スタート

- 11.1. スタート・ラインは、スターボードの端にあるオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端にある黄色の円筒形(サンファン)のコース側の間とする。
- 11.2. スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これは規則A4を変更している。
- 11.3. 予告信号が発せられていないクラスの艇は、コースサイドの外側に出るとともにスタート・ラインから離れ、予告信号が発せられたクラスの艇を避けなければならない。

## 12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインはフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークの間とする。

## 13. タイムリミットと目標時間

13.1. タイム・リミット、フィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムは、次の通りとする。

種 目	タイムリミット	マーク1のタイムリミット	フィニッシュウィンドウ	ターゲットタイム
ディングークラス	60 分	20 分	10 分	30 分
シングルハンドクラス	60 分	20 分	10 分	35 分
OP(A)クラス	60 分	20 分	10 分	25 分
OP(B)クラス	60 分	20 分	10 分	15 分

- 13.2. マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースは中止する。目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、規則 62.1(a)を変更している。
- 13.3. RRS30.3 及び RRS30.4 に抵触しない最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュしない艇は、審問なしにDNFと記載される。これはRRS35、A4、及びA5を変更している。

13.4. 各クラスのフィニッシュウインドウは、艇種毎のトップ艇からのタイムとする。

#### 14. 審問要求

- 14.1. 「抗議しようとする艇は、レース委員会に通知するため、フィニッシュ後、フィニッシュラインに位置するレース委員会艇に近づき、抗議する意思と被抗議艇のセール番号を口頭で伝えなければならない。」を規則 60.2(a)(1)に追加する。
- 14.2. それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻は、そのクラスの最終艇がフィニッシュしたのち最終レース終了時、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60分とする。時刻は公式掲示板に掲示される。
- 14.3. 審問要求の様式は、レースオフィスで入手できる。
- 14.4. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に公式掲示板に掲示する。審問はプロテスト・ルームに掲示した時刻より始められる。
- 14.5. レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、規則 60.2(a)(2)に基づき伝えるために掲示する。

#### 15. 得点

- 15.1. 本競技会が成立するためには1レースを完了することを必要とする。
- 15.2. シリーズの得点は、次の通りとする。
  - ・完了したレース数が3レース以下の場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
  - ・完了したレースが4レースの場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 15.3. 参加艇数とは、当該クラスに参加が認められた艇の数とする。

#### 16. 申告[NP][SP]

- 16.1. 出艇および帰着は大会本部側が目視により管理する。
- 16.2. リタイアしようとする艇、及び引き続き行われるレースに出走しない艇は、速やかにレース・エリアから離れリタイアの意志を近くのレース委員会艇に伝え、帰着後、速やかに、リタイア報告書を提出しなければならない。

#### 17. 安全規定

- 17.1. [SP]レースに参加しようとする艇の艇長は、予定されているレースの1時間前から、D旗掲揚 10 分後までに、レースオフィスにて、申告しなければならない。申告の方法はレースオフィスにて指示する。
- 17.2. [SP] 帰着した艇の艇長は、当該種目のレース終了後(引き続きのレースが行われた場合、そのレース終了後)、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分後までに、帰着申告しなければならない。ただし、レース委員会の裁量により、この時間を延長することがある。申告の方法はレースオフィスにて指示する。
- 17.3. レース委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対しリタイアの勧告及び強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。この項は、規則62. 1(a)を変更している。
- 17.4. [DP]参加する選手は、離岸から着岸まで有効な浮力体を持ったライフジャケットを着用しなければならない。
- 17.5. [DP]艇は自らの安全のためにマスト・トップに浮力体を取り付けることができる。

#### 18. 装備の交換

- 18.1. [DP]損傷又は紛失した装備の修理又は交換は、レース委員会の承認なしには許可されない。艇または装備は、クラス規則に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

## 19. 運営艇

19.1. 運営艇の標識は、下記のとおりとする。

運営艇名	表示	旗色
レース委員会艇	RC	白色
プロテスト委員会艇	JURY (白色)	赤色
救助艇	RESCUE (赤色)	白色

## 20. [NP][DP]支援艇

- 20.1. サポートボートは、レース公示に従い競技会参加申込時に所定の様式により、レース委員会からその使用許可を受けなければならない。
- 20.2. 使用許可を受けたサポートボートには、無線機もしくは携帯電話機を搭載し、参加受付時に貸与されたピンク色旗を掲揚しなければならない。
- 20.3. サポートボートは、最初にスタートするクラスの予告信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするまでの間、レース・エリアに入ってはならない。
- 20.4. 運営艇が数字旗8を掲揚した場合、サポートボートは危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない

## 21. [DP]ごみの処分

- 21.1. 艇および支援艇は、水中にごみ等を捨ててはならない。支援艇、運営艇に預けてよい。

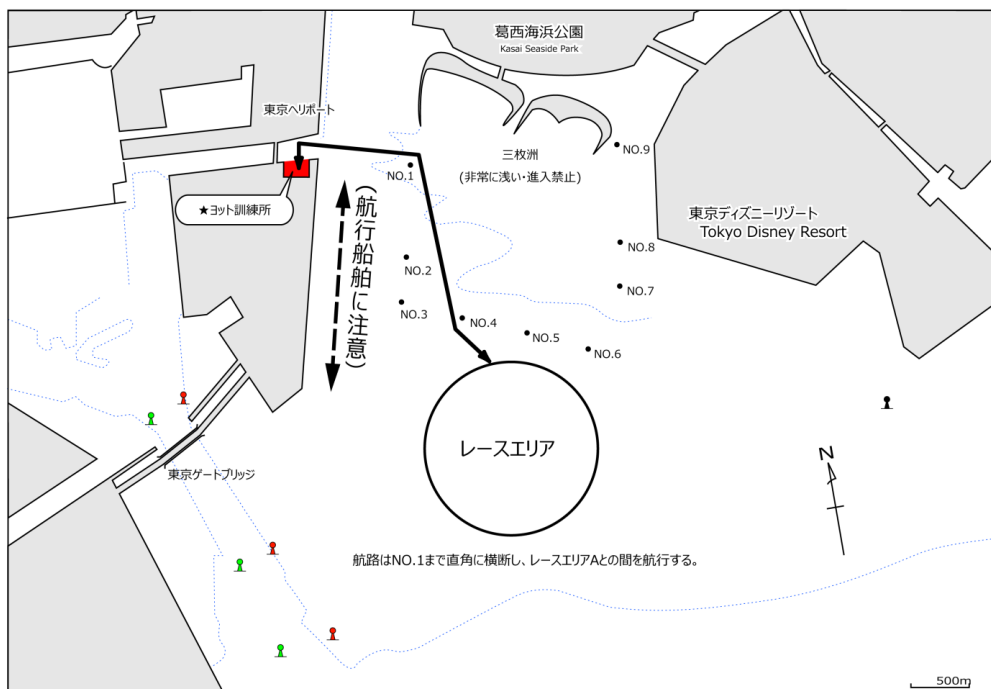
## 22. リスク・ステートメント

- 22.1. RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

## 23. 規則違反によって生じた損害の補償

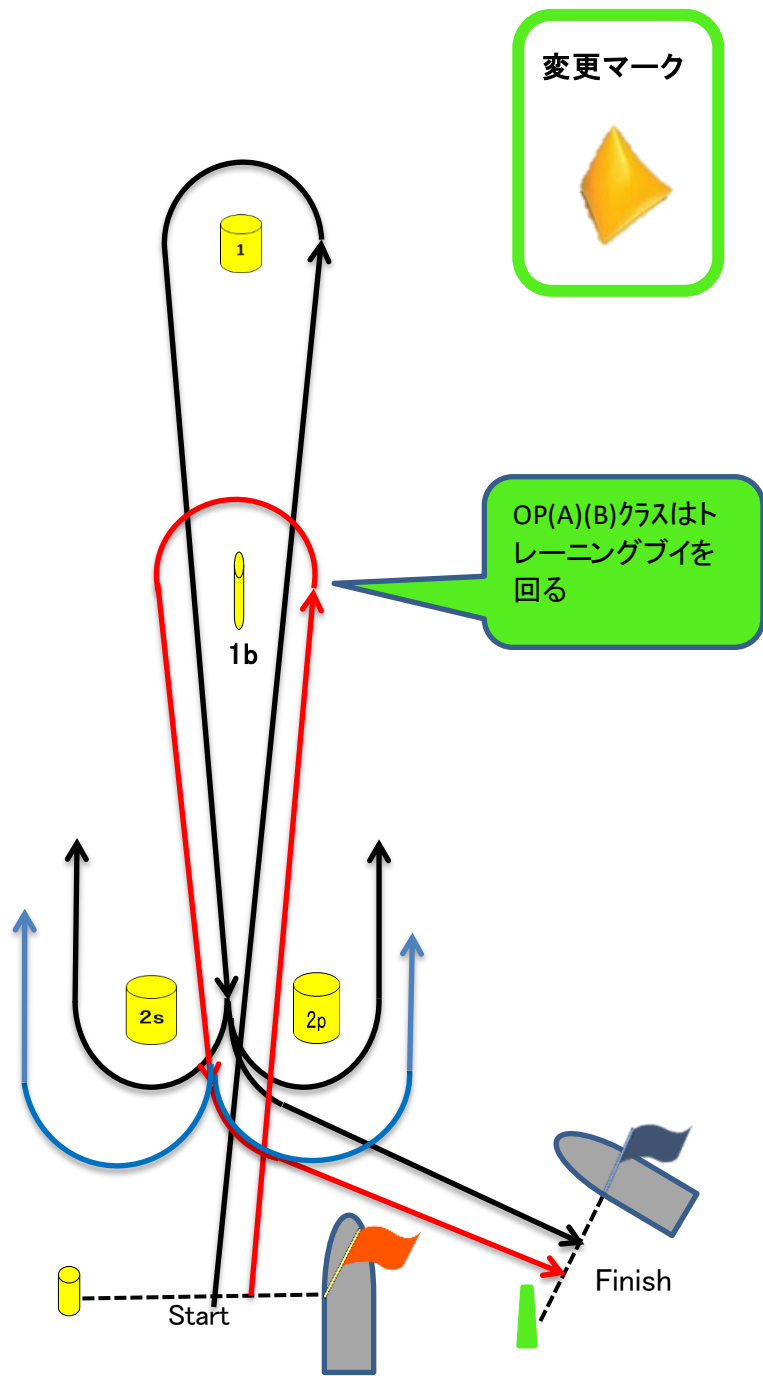
- 23.1. 主催団体は、規則等に違反した艇の乗員に対して、その規則違反によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。

## 添付図 A. 「レース・エリア」



添付図 B

LR



Course : Windward/Leeward

種目	Mark Rounding Order
ダブルハンドクラス シングルハンドクラス	Start-1-2s/2p-1-2p-Finish
OP(A)クラス	Start-1b-2s/2p-1b-2p-Finish
OP(B)クラス	Start-1b-2p-Finish